**受入時点における受入病院による研修医の評価**

様式B-３－３

臨床研修を受けた外国の病院や研修医本人からの聞き取り等を基に（平成16年４月１日以降に日本で臨床研修を受けたことがある場合は、臨床研修中断までの評価も含め）、下の研修医評価票に沿って受入時点における研修医の評価を記入すること。

**研修医評価票 Ⅲ**

**「C. 基本的診療業務」に関する評価**

研修医名

記載日　　　　　　年　　　月　　　日

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| レベル | レベル１  指導医の直接の監督の下でできる | レベル２  指導医がすぐに対応できる状況下でできる | レベル３  ほぼ単独でできる | レベル４  後進を指導できる | 観察  機会  なし |
| C-1. 一般外来診療  頻度の高い症候・病態について、適切な臨床推論プロセスを経て診断・治療を行い、主な慢性疾患については継続診療ができる。 | □ | □ | □ | □ | □ |
| C-2. 病棟診療  急性期の患者を含む入院患者について、入院診療計画を作成し、患者の一般的・全身的な診療とケアを行い、地域連携に配慮した退院調整ができる。 | □ | □ | □ | □ | □ |
| C-3. 初期救急対応  緊急性の高い病態を有する患者の状態や緊急度を速やかに把握・診断し、必要時には応急処置や院内外の専門部門と連携ができる。 | □ | □ | □ | □ | □ |
| C-4. 地域医療  地域医療の特性及び地域包括ケアの概念と枠組みを理解し、医療・介護・保健・福祉に関わる種々の施設や組織と連携できる。 | □ | □ | □ | □ | □ |